

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	青谷町立青谷小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9	16
児童数	25	22	29	28	30	28	5	167	

研究の概要

1. 研究主題

自らのゆめを育み やさしく たくましく生きる青谷っ子
 ~算数科における基礎・基本の充実と授業改善の取り組みを中心として~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年全学級で算数を実施している。理由は以下の通りである。
 理由：・系統的な学習内容であり、理解の状況に差が出やすい教科であること。
 ・全学年全学級で学習されている教科であること。
 ・以前から、算数科を中心に、TTや少人数指導に取り組んできているという実績があること。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎・基本の充実と授業改善の取り組み 研究の見通し(仮説) 人権・同和教育に基づく支え合い、伸ばし合うなかまを基盤に据えて、次のような取り組みを行えば、本校のめざす確かな学力が向上していくであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法、指導体制の工夫改善 ・教材の開発 ・評価基準などの研究開発 <p>研究の内容・方法 支えあう学習集団作りに努めながら、下記の取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態の把握(意識調査、標準学力検査など) ・教育講演会の実施 ・教材(補充プリント)の作成と実施 ・授業研究会の実施(20分間参観授業、全体研究会) ・評価基準表の作成 ・基礎の時間の実施(チャレンジタイム)
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 基礎・基本の充実と授業改善の取り組み 研究の見通し 人権・同和教育に基づく支え合い、伸ばし合うなかまを基盤に据えて、次のような取り組みを行えば、本校のめざす確かな学力が向上していくであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法、指導体制の工夫改善 ・発展教材の開発 ・評価基準などの活用 <p>研究の内容・方法 初年度の取り組みを引き続き行うとともに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数科の補充発展のための特設時間(かがやきタイム)
--------	---

・発展的な学習のための教材の開発
 などに取り組んだ。しかし、実施を計画していた
 ・中学校との連携
 ・地域や保護者との連携
 について、十分に取り組むことができなかった。緊密な意思の疎通を図るための場の設定，時間の確保などができなかったことが原因である。

平成
16
年度

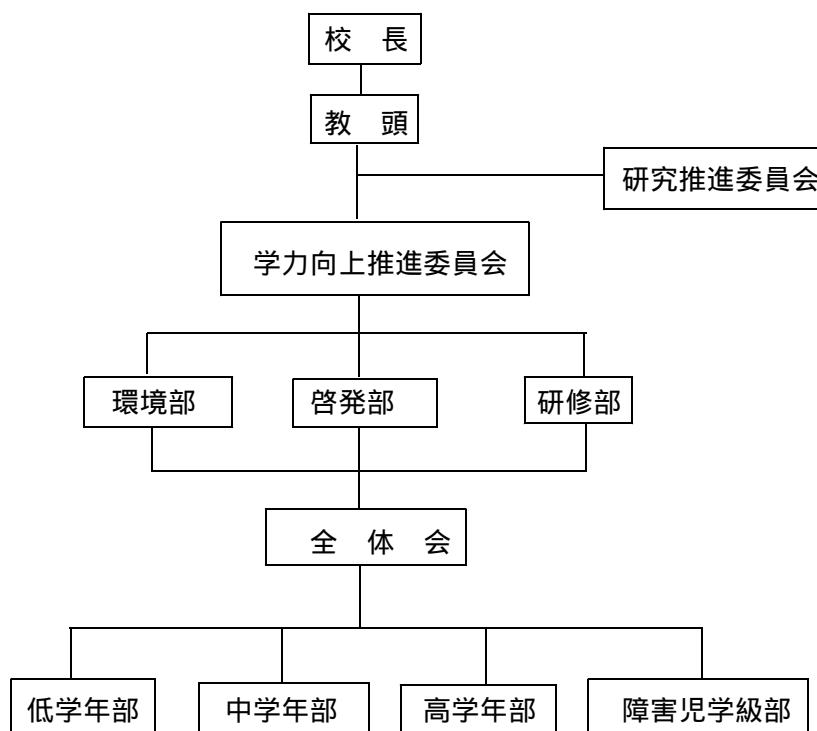
テーマ 基礎・基本の充実と授業改善の取り組み

最終年度として、これまでの実践を整理し、焦点を絞った取り組みを行うとともに、地域、保護者、学校が協力しながら、子ども達の育ちを支えていけば、本校のめざす確かな学力が向上していくであろう。

研究の内容・方法

- ・3カ年の指定を終えた後も、継続していけるように、取り組みの精選を図る。
- ・地域や保護者を巻き込み、力を合わせて学力向上に取り組んでいけるような体制づくりに取り組む。
- ・HP、学校便り、学校説明会などにより、学校の取り組みの発信に努める。

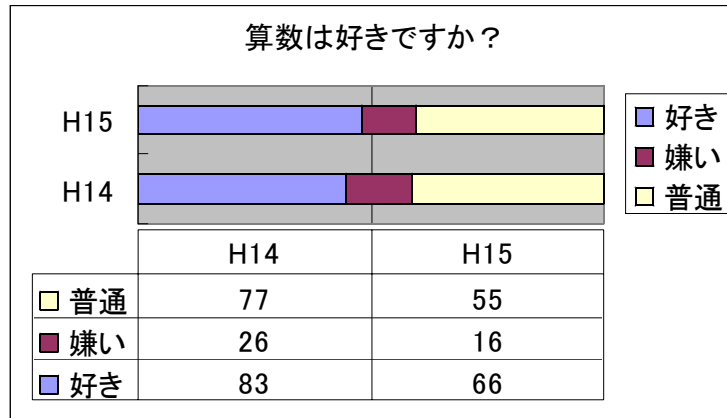
(3) 研究推進体制



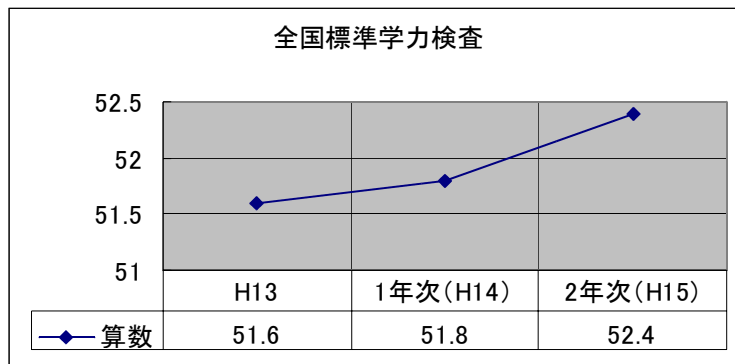
昨年度との違いは、今年度、障害児学級が3学級になったことをきっかけに、障害児学級部を設置したことである。また、各部にチーフを位置付けることによって、円滑な取り組みを図るように努めた。

平成15年度の研究成果及び今後の課題
1. 研究成果

これまでの取り組みを情意面と理解面からみる。



わずかであるが、「好き」が増え、「嫌い」が減っている。算数が好きな子ども達の割合が増えているのは、とてもうれしい結果であった。意識調査によると、子ども達が昨年に引き続き、「できるようになりたい教科」「大切だと思う教科」として一番に挙げ、また、嫌いな教科としても上位に挙がっているのが算数である。日々の取り組みを通して、「できて」、「分かって」、「使う」ことができさえすれば、もっと算数好きな子ども達が増えていくと思う。



標準学力検査（NRT）の結果をみると、一昨年より算数科の偏差値平均がわずかずつつではあるが上がっている。力がついてきていると捉えたい。これまで、授業やゆとりの時間（チャレンジタイム、かがやきタイム）に、多くの教師が関わりながら、定着の不十分な子ども達を主眼に補充的な扱いを、定着の十分な子ども達を対象に発展的な扱いを行い、算数の学習内容が、「できる」「分かる」「使える」ようになるよう努めてきた。その成果が出てきていると考えている。

2. 今後の課題

今年度（15年度）発展的な問題の開発に取り組んだ。しかし、十分には研究を積み上げることができなかった。次年度は、発展問題の研究に力を注いでいきたい。また、地域や保護者との連携を深め、力を合わせて子ども達の育ちを支えていくことにも力を注いでいきたい。

学力等把握のための学校としての取組

本校が行っているものは次の通りである。

	時期	目的	内容
算数意識調査	1月	算数に対する興味， 関心，態度を捉え る。	・好き嫌い ・学校外での学習状況 ・算数に対する意識，他
全国標準学力検査 (NRT)	5月	国語と算数について の学力の実態を捉え る。	個人別集団別 ・知能指数 ・知能タイプ ・算数と国語の学力実態 と学力分析
県基礎学力テスト	1月	学力の実態を捉え る。	3年と6年の学力実態
県診断テスト	2月	学力の実態を捉え る。	各学年の学力実態

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

	日時	場所	対象	目的
学校説明 会	5月23日	体育館	保護者・地域	仲間づくりと学力向上のための取り組みの計画を、保護者と地域の方に説明するとともに、保護者と地域の方の声を聞き、ともに手を携えて、子ども達の育ちを支えていくことを目的として説明会を開催した。
教育講演 会	7月15日	青谷町役場	郡内外教職員 フロンティア校教職員	今、悩み、迷っていることに対する示唆を受けることをねらいとして講演会を開催した。
学校説明 会	3月	体育館	保護者・地域	年度当初計画していた取り組みの実績と子ども達の育ちの様子を説明し、説明責任を果たすとともに、次年度への課題を見つけることをねらいとして学校説明会を計画している。
ホームペ ージ			地域・保護者	学校での取り組みの様子を伝え、取り組みの実績と子ども達の育ちの様子を説明し、説明責任を果たすとともに、地域や保護者の協力を仰ぐことをねらいとする。
学校たよ り	2月		地域・保護者	本年度の学校での取り組みの様子を伝え、取り組みの実績と子ども達の育ちの様子を説明し、説明責任を果たすとともに、次年度への課題を見つけることをねらいとする。

教育講演会については、昨年より引き続いての開催であり、郡内外小中学校、教育センター、附属小などの先生方に参加していただき、好評を得ている。昨年は「学力とは」、今年は「算数学習における補充と発展の在り方」と題し、鳥大矢部教授に講演をいただいている。次年度も開催予定である。その他、校内全体授業研究会は、2年生、3年生、5年生を各1回、郡算数部授業研究は4年生を1回、ミニ授業研究会(20分間参観授業研究会)は今後の予定も含め、各学級で合わせて23回を行い、郡内小中学校の先生方にも参観していただいた。互いに研究を深めることができ、有意義であったと考えている。

さらに、本校ホームページには、算数の全学年分の評価基準表を掲載し、また本校の取り組みを紹介している。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】
【学校規模】
- | | |
|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 1 5 年度からの新規校 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 4 年度からの継続 |
| <input type="checkbox"/> 6 学級以下 | <input checked="" type="checkbox"/> 7 ~ 1 2 学級 |
| <input type="checkbox"/> 1 3 ~ 1 8 学級 | <input type="checkbox"/> 1 9 ~ 2 4 学級 |
| <input type="checkbox"/> 2 5 学級以上 | |
- 【指導体制】
- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導 | <input checked="" type="checkbox"/> T . T による指導 |
| <input type="checkbox"/> 一部教科担任制 | <input type="checkbox"/> その他 |
- 【研究教科】
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|--|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 国語 | <input type="checkbox"/> 社会 | <input checked="" type="checkbox"/> 算数 | <input type="checkbox"/> 理科 |
| <input type="checkbox"/> 生活 | <input type="checkbox"/> 音楽 | <input type="checkbox"/> 図画工作 | <input type="checkbox"/> 家庭 |
| <input type="checkbox"/> 体育 | <input type="checkbox"/> その他 | | |
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】
- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 |
|---------------------------------------|----------------------------|